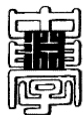


学校教育目標

「自ら学び 心身ともに
しなやかでたくましい
生徒の育成」



淵

の

風

景

HP通信「淵の風景」

発行 長崎市立淵中学校

文責 教頭 岸本博史

令和5年4月25日

令和5年度のスタート！

本年度より、学校行事や学校での生徒たちの様子をホームページを活用しながら紹介していきます。

日常の一コマを切り取って紹介していきますので、よろしくお願いします。

4月21日（金）から淵中学校では「長崎っ子の心を見つめる教育週間（命を考える週間）」がスタートしました。



市内の他小中学校では7月1日前後に教育週間を実施しています。しかし本校では過去の不幸な出来事を踏まえ4月下旬に実施しています。

この週間では、全校朝会、命を題材とした道徳授業（26日（水）13：45～）、献花・黙祷、命を考える講演会（28日（金）14：15～）が行われます。どうぞご参観ください。

全校集会では校長先生より教育週間の意義と「命を大切にする」淵中をつくるために「互いに高め合う大人になってほしい」「周りにアンテナを張り、気づくことができる人になろう」と話がありました。また、一人で悩まず、相談できる人に相談しよう。命を大切にしようとも話がありました。

「みんなで一人の命を守る」そのための寄り添い、心配りをしていくことが「フォローシップ」になるのではないのでしょうか。



「淵スピリット」

この学校で、この学校でしか学ぶことができない、先輩方から伝わってきたものがある。それが何かを考えていく、どうやって育てていくかを考えていく。

「命を大切にする」ことが「淵スピリット」の原点となるのではないだろうか。

この命を考える週間を通して、「淵スピリット」を探してみましょう。



